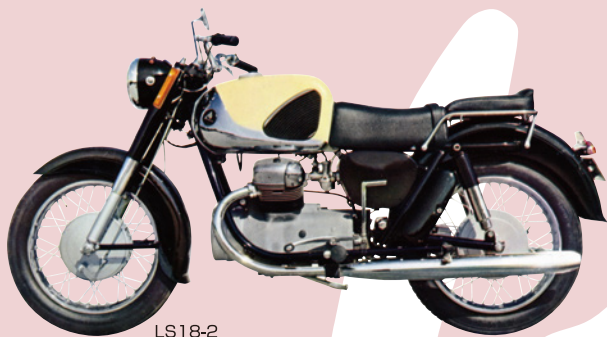


# ライラックの軌跡



ランサーマークV LS38



LS18-2

会期／平成27年9月19日(土)～10月18日(日)

午前9時～午後5時(最終日のライラックの展示は午後3時にて展示終了いたします)

休館日 9月24日(木)・28日(月)・10月5日(月)・13日(火)

観覧料 大人300円・高校生150円

中学生以下・70歳以上の方・障がい者手帳をお持ちの方は無料

協力 ライラック友の会

後援 静岡新聞社・静岡放送 中日新聞東海本社

## 会期中イベント

### ・ライラック友の会による展示案内

展示会場でオートバイを見ながら解説します。

日時 9月22日(火) 午後2時から

### ・ライラック デモ走行(なつかしのライラックが走行します)

場所 蛸塚公園

日時 10月10日(土)午前11時と午後2時から(各回1時間程度)

※雨天時は10月11日(日)に順延



六間道路沿にあった丸正自動車製造本社

ものづくりの街浜松は太平洋戦争の終戦後、オートバイ製造が急速に発展し、多くのオートバイメーカーが設立、やがて短期間の間に姿を消していきました。

戦前に本田宗一郎が経営していた、アート商会浜松支店で働いていた伊藤正は独立して、戦後、二輪車製造の研究を開始しました。

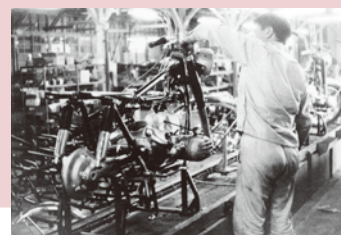
伊藤は、社名を丸正自動車製造とし、本田宗一郎の本田技研と異なる構造のオートバイの開発を念頭におき、チェーンのないシャフトドライブのオートバイを開発しました。

昭和26年(1951)には、本格的にライラックMLやLBの生産を開始しました。

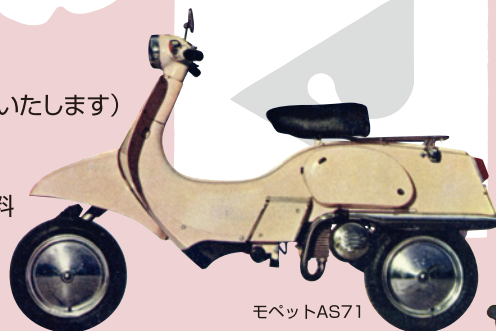
また、昭和30年(1955)に第1回浅間高原レースに優勝して、ライラックの名声を高めました。

しかし、昭和42年(1967)には、会社が倒産し、ライラックは製造されなくなりました。

今回の展示では、オートバイ産業が熾烈を極める中で、伊藤正が立ち上げ、独特なオートバイ製造で人気を集め、そして終止符を打った丸正自動車製造の歴史とライラックの名車をライラック友の会の協力をいただき、展示します。



丸正自動車製造の製造風景



モペットAS71



ベビーライラック



# 浜松市博物館

〒432-8018 静岡県浜松市中区蛸塚四丁目22-1  
TEL.053-456-2208 FAX.053-456-2275  
E-mail hamahaku@city.hamamatsu.sizuoka.jp  
http://www.city.hamamatsu.sizuoka.jp/hamahaku/

交通案内 博物館への交通機関  
JR浜松駅北口バスターミナル2番ポール  
遠鉄バス「蛸塚・佐鳴湖」行→「博物館」下車